

平成27年度第3回総合教育会議 会議録（要点筆記）

平成27年11月17日（火） 13時30分～14時30分 全員協議会室A B

【水俣市総合教育会議出席者】

市長	西田 弘志
教育委員長	荒木 由紀子
委員長職務代理者	河田 奈保子
教育委員	山田 誠次
教育委員	堀 浄信
教育長	吉本 哲裕

【市長部局：事務局出席者】

総務企画部長	緒方 克治
総務企画部長次長（総務課長）	本田 真一
総務課 行政係 係長	赤司 和弘
総務課 行政係 主事	千々岩 健史

【教育委員会：事務局出席者】

教育次長	黒木 博寿
教育総務課長	高沢 克代
生涯学習課長	田中 慶二
指導主事	高橋 裕二
教育総務課 総務係 主幹	鎌田 みゆき
教育総務課 総務係 参事	牧 千世

【傍聴者】1名

1 開会 （司会進行：総務課 赤司係長）

- ・市長あいさつ

2 議事 （市長招集のため、市長が議長となり進行）

◆水俣市教育大綱（最終案）について （説明者：総務課 赤司係長）

- ・これまでの意見を踏まえて、教育委員会・市長・事務局で協議し、再度練り直した最終案を提示。

基 本 理 念 「郷土の明日をつくる、心豊かな人づくり」

水俣市の教育 3つの決意

◇1 水俣を担う熱意あふれる人材を育成します

家庭や学校、地域が一体となって、地域の資源や特色を活かしながら、活気ある水俣を創造していく熱意あふれる人材を育んでいきます。

◇2 知・徳・体を育む学校教育を推進します

誰もが楽しく学ぶことができる学校づくりを推進し、一人ひとりを大切にしながら、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育んでいきます。

◇3 水俣の力と誇りを育む社会教育を推進します

社会教育を充実させ、水俣文化の創造・スポーツを通じた交流・個々の生きがいづくりを推進して、市民の力と誇りを育んでいきます。

市長：私は「教育するなら水俣」と言われるようになったらいいなと夢をもっています。

この大綱は水俣市の教育のベースとなるもので、今回人材育成・学校教育・社会教育の三つにすっきりまとめました。ご意見ありますか。

荒木委員長：この大綱の主語は「水俣市」ならば、◇1の決意の「家庭や学校、地域と～の方がいいのではないのでしょうか。

山田委員：◇2の確かな学力・豊かな心・健やかな体の順番は意味がありますか。知・徳・体にちなんだものですか。

高沢教育総務課長：熊本県の教育プランに、知・徳・体という言葉が使用されており、それに準じた表現になっております。

堀浄信委員：3つの決意になって、すっきりして良いなと思う反面、水俣市ならではの特色が薄いのが少し気になります。難しいですね。

市長：では、御指摘いただいた◇1「家庭や学校、地域と～」等の細かな文言修正等につきましては、事務局に一任するということで、この教育大綱を承認いただいてよろしいですか。

各委員：はい

水俣市教育大綱承認

◆水俣市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（説明者：教育総務課 鎌田主幹）

資料１ 水俣市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

資料２ まち・ひと・しごと創生 水俣市人口ビジョン

（資料１・２を基にまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要と特に教育分野について説明）

- ・人口減少に歯止めをかけ、地域活力を高め、真の豊かさを実感できるまちづくりを目的としている。
- ・水俣で結婚・出産・子育ての希望を叶えるためには、教育が重要である。
- ・水俣市の合計特殊出生率は２００８年から２０１２年の値は１．８３と比較的高い水準であるが、出生数は減少傾向が続いている。

【意見・質問】

堀浄信委員

- ・合計特殊出生率の件ですが、水俣市は１．８３と高水準な理由はどうしてでしょうか。

緒方克治総務企画部長

- ・現在のところ、理由をはっきりわかりません。合計特殊出生率は高水準ですが、一方人口は減少しています。他の市町村の例で、出生率等が上がっている理由が判明しているなら、今後の施策の参考にしたいと考えているところです。

吉本哲裕教育長

- ・出生率の増加は、医療費の無料化などの施策が影響している可能性がありますか。

緒方克治総務企画部長

- ・本市では現在中学生まで医療費の無償化にしています。子どもは医療費がかかるものなので、無償化されていると生みやすい環境になっていると思います。ただし、無償化と出生率の関係について、まだ分析はなされていません。

山田誠次委員

- ・保育園現場からの感想ですが、確かに近年、水俣市では１人より、２人目３人目と生むお母さんが増えていると思います。待機児童がいないこと、育休中の上の子の退園について寛容であることなどがあげられると思います。また子どもを可愛がる雰囲気があるためではないでしょうか。

西田弘志市長

- ・出生率についてですが、韓国や台湾も低いと聞いたことがあります。儒教的な考えで、子育ては母親がするものであるという思い込みが強い地域は、出生率が低下していると

のことです。一方ヨーロッパやアメリカなどの男女共同の意識が高く、子育てに父親が積極的にかかわる地域は、出生率が高いというデータがあります。

3 その他（総務課 赤司係長）

総合教育会議については、今後も年に数回程度、教育施策の推進のために開催することになると思います。会議開催の折には文書で通知いたしますので御協力お願いします。

4 閉会